

||||||| 共働・共助による事業活動の推進／自主・自立による組織活動への参加 |||||

シルバー

新年号

2013

せたがや



代田八幡神社境内 「代田餅つき」

撮影 落合 泰造

過信せず 健康チェック 心がけ
ハンドルの ニギリはいつも ブレーキに
確認は 急がず焦らず ためらわず

平成25年1月1日発行 通算第132号／編集発行・公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター
本 部：〒156-0051 世田谷区宮坂1丁目24番6号 宮坂区民センター内 ☎03(3426)9211(代)
烏山支部：〒157-0063 世田谷区粕谷1丁目7番34号 ☎03(5316)1371



ホームページ <http://www.sjc.ne.jp/setagaya/>



2013年 年頭に当たって



公益社団法人
世田谷区シルバー人材センター
会長

竹内 弘

皆様、お健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

日頃から、会員の皆様には地域の中で積極的に活動を続けていただき、働くことや、社会貢献活動を通じて、「働く高齢者の文化の創造」にご尽力されていることに改めて深甚の敬意を表します。

本格的な超少子高齢社会を迎え、社会は目まぐるしく変化をしております。これまで地域生活、地域社会を支えてきた主体（血縁・職縁）は機能が低下・弱体化しつつあり、地域の様々な主体が連携を図りながら、地域社会のニーズに応じていく、いわゆる「共助社会」が、到来したといえましょう。

健康な高齢者の集まりであるシルバー人材センターは、地域を支える「共助」の担い手として多くの期待が寄せられており、皆様とともに積極的な活動を進めてまいりたいと考えております。

一昨年「公益社団法人」として新たなスタートをした当会は、『地域に信頼されるシルバー』を目指して活動を続けております。昨年は「会員憲章」を策定し、この憲章の下で役職員、会員の全てが心一つにして目的に向かって邁進することを誓いました。

今年も「いきがい」「生涯現役」を目指し、互いに力を合わせて活動してまいりましょう。



公益社団法人
世田谷区シルバー人材センター
名誉会長
世田谷区長
保坂 展人

明けまして、おめでとうございます。

世田谷区シルバー人材センターの皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

シルバー人材センターの皆様は、これまで培ってこられた知識や経験を生かして、日々、汗を流されておられることに敬意を表します。

超高齢社会が進む中で、区では「全ての人が住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らし続けられる地域社会の実現」を基本理念として、様々な高齢者施策を進めております。

本年も引き続き、区政への一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

新たな年を迎え、会員の皆様が、これまでの知識や経験を活かされ、活動されることにより、生きがいと健康づくりを進められるとともに、地域社会の発展を支えてくださるよう期待しております。

結びに、シルバー人材センターのさらなるご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、今年のご挨拶いたします。



謹賀新年 今年もよろしく願います



▲ 代田八幡神社境内

事務局長

青山善樹
事務局職員一同

監事

奥田昌博
澤田英博

理事

松前美代子
前橋俊允
高橋和夫
菅本品和
清水野富
木村正久
伊藤正子

理事

溝口俊一
衣笠俊一
竹内弘

副会長
常務理事

世田谷区民会館で、区政80周年記念の「いきいきせたがや文化祭」が賑やかに開催されました。高齢者クラブ・生涯大学・当センターが実行委員となり、日頃研鑽を重ねた作品や演技を披露し、交流を図るものです。

演芸は、一般も含め123組が参加しました。

当センターは、毎年出場のカラオケコーラスのほか、上野毛組の役員が総出演した日本舞踊「関東1本メ」が披露され、やんやんやの喝采を浴びました。



◀ カラオケ同好会



▲ 上野毛組 組長・班長総出演

2日間、例年どおりフラダンス、合唱、民謡、詩吟等盛りだくさんの演目のほか、2日目の正午には、恒例の和服・帯等をリメイクしたファッションショーが始まり、制作者自身がモデルになって登場し、人気を集めていました。

当センターの陶芸、編み物、書道等のカルチャー教室の作品がたくさん出展され、会員の絵画、花カゴ、書、紙紐細工等も並んで展示場は充実していました。

出展者には礼状・粗品が贈られ、友人知人と訪れた皆さんは感激していました。



▲ 当センター作品展



◀ 華やかなフラダンス



ボランティア活動がきっかけ「関東1本メ」秘話

チーム上野毛藤川会

6月の班長会で、「地域の組でボランティア活動を始めようという動きがあるが、良い案はないか」と秋元組長が切り出しました。中島正江班長から「個人的に老人ホームやデイホームで、踊りや大正琴、歌、カラオケ、民謡などを披露してきた。これらを皆で一緒にやってみてはどうか」との提案がありました。

秋元組長の「一度やってみようか」との言葉を、全班長がすんなり了承。早速、区民集会所などで2回ほど練習して、いよいよ中町デイホームを訪問しました。

組長のハーモニカ“結んで開いて”の曲に乗り手を叩き、踊りながら入場行進。ホームの皆さんも

一緒に手を叩き、中島班長の踊りの披露、ハーモニカによる懐メロ“青い山脈”等に続いて、民謡のソーラン節、武田節（組長の詩吟入り）でさらに熱が入り、練習した「関東1本メ」を何とか披露できました。ホームの皆さんの笑顔と盛り上がり、全員がすっかり楽しくなり、また訪問しようと言いました。

目標があれば練習が進むと中島班長が「いきいき文化祭」出場を提案。

早速、中島師匠の指導の下に、土曜日毎に特訓を重ね、上野毛組長・班長総出演が実現しました。

中島師匠の振り付けと演

出に合わせた録音テープが各人に渡され、歌う部分は個々に練習をして本番に臨みました。

この2月に老人ホームからお座敷がかかっているの、年末まで練習を重ね、ボランティアの会員仲間を少しずつ増やして活動を広げて行く予定とのこと。

▼ 中町デイホームで踊りを披露



★新しい動き★

世田谷区シルバー人材センターは 創立35周年を迎えます！

本年、当センターは、創立35周年を迎えます。

これを記念して「シルバーまつり」(仮称)の計画化、「シルバーせたがや」の特別記念号(平成26年3月)の発行準備を進めます。

子どもからお年寄りまで楽しめる「シルバーまつり」のイベントや、記念号の特集記事等に関して、良いアイデアがありましたら、どしどし広報・広聴部会へお寄せください。

アイデア募集

「地域に信頼されるシルバー 人材センター」をテーマに 班長研修会を開催

9月24日(三茶しゃれなあと)と26日(烏山区民センター)、班長研修会が開催されました。

地域への貢献や、地区住民や団体との連携、社会奉仕活動等についてグループ討議を行い、代表から討議発表がなされました。

主な意見を集約すると、

「地域への恩返し気持で、公園清掃、自転車の整理等に就業している。その活動が生きがいや自分の健康維持にもなり、医療費の抑制に繋がっていると思う」

「地域との連携には、当センター役割のPRが大切であり、地区の出張所、まちづくりセンター、各既成団体との連携や交流を積極的に進める必要がある」

「すでにボランティア活動を行っている組の活動実績等を、広く他地域にも周知して、自主的に活動に取り組めるよう、センター側も支援してほしい」

センター創立35周年記念 「シルバーまつり」を計画

公益法人改革により、センターは社会奉仕活動を通じた地域社会との連携、事業活動の地域へのPRが重要です。また、就業感謝の意味を含めた一般公開のお祭り等は、地域との絆づくりに繋がる公益事業です。

この度、創立35周年記念行事の一つとして、地域住民との交流、会員同士の親睦を深める「シルバーまつり」(仮称)を開催する企画を決定しました。

実施は平成25年11月中旬を予定。今後、実行委員会を設けて準備を進めます。詳細は次号で。

「仕事別グループ交流会」開催 組織の充実・強化を図る

センターには様々な就業職種があり、就業環境も異なり横の繋がりが乏しい状況があります。

グループ相互の交流、意見交換、連帯意識の高揚を図り、「自主・自立」の運営、一層の組織効率化をめざし、11月29日に初めての会合が開催されました。

仕事別グループの組織化は長年の課題であり、31グループの代表者等、約50人が一堂に会し、グループの現状、世話人の状況や役割等を発表しあって、現状の打開策を検討しました。

今年は、第2回目を計画します。

「区民から怖い人と言われた」、 「仲間から困った人と言われる会員」 にどう対応するか」をテーマに 入会5年次(平成20年入会)会員研修会を開催

11月19日～21日、3会場(用賀、宮坂、烏山)で入会5年次の会員研修会が開催されました。

シルバーパス更新事業の現場に長く携わってきた前橋理事、家事援助サービスの伊藤理事、植木グループで活動する菅野理事による講話がありました。各理事の体験に基づく現場でのお客様とのトラブル、会員間の揉めごとの事例や対処法が語られ、感動したひと時でした。

後半は、①ちょっとした言葉使いや行動で区民から「怖い人」と指摘された ②グループ就業で仲間と馴染めず、「困った人」と言われた、等の会員にどのように対応していったら良いか、グループ討議が行われました。

各グループの討議発表のあと、溝口常務から以下の講評がありました。

大半の就業現場では感謝されています。しかし、公共施設は住民が苦情を言いやすい面もあって、行政から苦情を持ち込まれるケースが多いといえます。

入会5年目の皆さんは、基本的に立ち返り、就業ルールや責任をもう一度ご確認願います。

会員間のトラブルも含め、就業に感謝し、地域に貢献の心をもって、各人が自主・自立、共働・共助の精神で日々就業したいものです。



▲ 宮坂会場 伊藤理事

就業適正化部会から、本年7月、未就業者399名にアンケートを発送して、得られた回答165名（回収率41%）の中味を分析した結果をご報告します。

未就業期間を調べると、入会后1年間（12%）の方に対して、2～3年間（31%）、4～5年間（18%）、それ以上（18%）の方が多く、2年以上未就業の方は全体の67%を占めています。入会当時から未就業が続くと、未就業状態が長期化してしまうように見受けられます。

入会後の早い時期に提供された仕事は、積極的に受け、就業体験をすることがポイントとなります。希望職種順位の低い場合でも、就業体験をしてみれば、予想と違った発見もあるものです。

未就業の理由は、体調不良27%、介護や家庭の都合9%、事務局からの紹介時に都合が悪かった12%、他で仕事があった14%等、合計62%が自己の体調不良・都合等により就業を断っています。

これが数回続くと、未就業の長期化傾向を助長していくようです。

まず、自己の健康管理が大切で、生活習慣病による体調不良は長期化しがちです。そういった場合は、退会して健康を取り戻し、再入会をするのも一つの方策です。

体調が回復し就業態勢が整ったなら、事務局へ就業したい旨を積極的に伝えましょう。

タイミングが悪くて断った場合も、事後に窓口や「さわやか相談室」等を訪ねて、就業の意思があることをアピールし、えり好み等せずに就業の実体験を優先すれば、未就業の長期化は避けられるでしょう。

（就業適正化部会会長 高品 育）



10月23日

柏崎市シルバー人材センター(S.C) 農場体験ツアー 秋の陣(収穫編)

新潟県柏崎市での5月の農場体験ツアーで植えた里芋が収穫期を迎え、会員32名が収穫体験ツアーに出掛けました。

地元会員さんの助けを借りながら、人の背丈ほどに育った里芋を掘り起こすと、親芋の周りに根や子芋が絡んだ大きな塊が出現。これを丹念にほぐし、泥を水洗いすると、白い肌の新里芋がころころ姿を見せました。

雨天のため、本格的収穫や畑での芋煮会は締め、地元JAの広間で芋煮会。割烹店の老主人による芋煮（おいな汁）と特産米のおにぎりが登場。おいな汁は、厚揚げ、里芋のほかに、地元で採れた野菜・キノコ類が入った醤油味で、そのおいしさにお代わり続出で、鍋はすぐ空になりました。

24日は雨が止み、柏崎市S.Cの直売店舗「ふれあいサロン やまゆり」へ寄り、お土産を購入。会員が生産した新鮮な野菜、果物類等のほか、手作りの手芸品、細工物等も格安で並べられ、奥は、気軽にコーヒー等が飲めるサロン。売り子は、100人ほどの登録無償ボランティア会員が交代でこなしているとのこと。農産物は大人気で、みんな大量に買い込みました。

▼ 木村茶道美術館 茶室



▲ 育った里芋



▼ 芋煮会



その後、市内の松雲山荘庭園内にある茶道専門の「木村茶道美術館」で、人間国宝をはじめとした名工の陶磁、茶器、掛け軸や古書画の展示を見学。

北大路魯山人、他の名陶作の数百万円以上もする茶碗で、一人ずつ薄茶を賞味できる嬉しい体験ができました。

最後は「日本海フィッシャーメンズケープ」に立ち寄り、新鮮な海産物などを買ひこみ、バスは東京への帰路につきました。柏崎市S.Cの皆様、ありがとうございます。



▲ 直売店「やまゆり」

Q & A : 就業中の事故と保険について 安全委員会より

高齢になると、ちょっとしたことで骨折やケガに至ることが多くなります。そんなとき、気になるのは医療費や保険のこと。あなたはどれくらい知っていますか？

Q 1 シルバー人材センターの会員は、就業中のケガに健康保険が適用されないことがあるって本当？

A シルバー会員の就業は、雇用関係が発生しないので従来から労災保険は適用されません。

最近話題になったのは、子どもの健康保険(健保)の被扶養者である会員や、退職後2年間の健保の任意継続加入となった会員が、就業中のケガで病院へ行った場合に健保が適用されなかった事例です。

厚生労働省は、労災保険給付が受けられない場合、今後、健保を適用する方針を決めました。なお、国民健康保険(国保)は、従来どおり適用されます。

Q 2 当センター会員は、シルバー傷害保険が適用されると聞いていますが、どんな制度なの？

A 国の医療保険の「健保」以外に、シルバー独自のシルバー傷害保険があります。

会員は、入会后、毎年、センターの負担でこの保険に自動的に加入しています。就業中又は就業途中でケガをしたとき適用される任意の傷害保険です。事故発生時には直ぐ、担当職員に相談してください。

Q 3 シルバー傷害保険で支払われる保険金は、具体的にはどれくらいなの？

A 医師の治療を受けることが前提ですが、例えば事故後180日以内に死亡すれば700万円、入院では180日以内まで1日4,500円、通院なら90日まで1日3,000円等となります。

Q 4 ケガの治療中、いつまで給付を受けられるの？

A 入院、通院それぞれ上記の限度日数までですが、それ以前に日常生活や仕事に支障がない程度に回復した場合は、終了となります。

Q 5 就業終了時に、「ついでに」と頼まれたごみを運ぶ途中で足をくじいた。保険は適用されるの？

A 契約内容にない仕事上のケガは、シルバー保険の対象になりません。このような場合には、「契約内容にない仕事」との理由を伝えて、丁寧にお断りしましょう。なお、就業先への行き帰り途中の事故は、シルバー保険が適用になります。



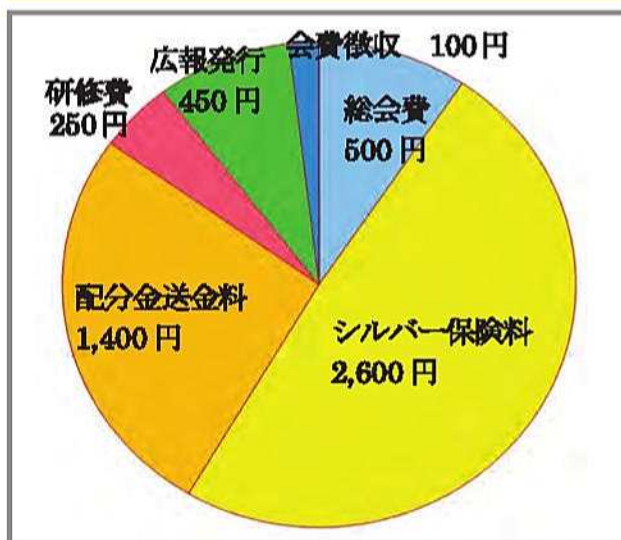
就業上不適格な行為とは？

①就業時間や仕事上のルールが守れない ②就業状況や健康面で責任を果たしていない ③受注先や利用者とのトラブル、会員同士の揉め事等が頻繁にあるケースは、就業上不適格な行為と見なされ、契約解除や就業停止になることがあります。これらは、発注者や区民からの苦情に繋がります。

会員就業規約には「仕事の誠実な履行」を定めています。就業時のモラルやマナーに欠ける行為、発注者との契約等に違反する行為等の防止が、センターの信頼性を高め、就業拡大に繋がります。

特に、グループ就業は、明るい雰囲気のもとでお互いが就業できるよう、ご協力をお願いします。

★年会費1,000円は高いですか？ センターからは、会員1人に5,300円が支出されています。



表紙解説：区の無形民俗文化財に指定されている「代田餅つき」

江戸時代天保年間から伝わる独自の餅つき。餅つき唄で調子をとる「こねどり」、6人または8人でつく点が特徴。一日を8分ぐらいでつく。毎年1月第3日曜日に神社境内で地元の三土代会(保存会)によって行われる。子どもの体験餅つきもある。





神代植物公園を訪れて

成城組 大山 存穂

秋の神代植物公園に行って来ました。毎年、バラの時期に訪ねるようにしていますが、今年は私にとって特別な一年でした。2月の深夜に心臓バイパス手術を受け、九死に一生を得て喜寿を迎えることができたのです。よくぞまた、このバラ園を訪れることができた感慨もひとしおでした。

この公園が開園した昭和36年は私が結婚した年で、バラの幹も51年を経過し、直径10cmにも達するものも多く見受けられます。年輪のように自分も歳を重ね、多くの種類の花がこれまでの出来事と重なり合うように思い出されました。

ウィークデイであったせいか、高齢夫婦の来園者が多く見られ、戦後の日本を築き子供を育て上げ、企業戦士として全うした自分達への癒しのひと時を、時が経つのも忘れて鑑賞に費やす姿がとても印象的でした。

幾種類もの個性豊かなバラが、私達に明日への生きる活力注いでくれたように感じました。これからも世のため人のため、愛情を持って頑張って生きていものと心に決め帰途に着きました。

「振り込め詐欺」に思うこと

経堂組 石綿 久利

平成24年9月、地域活動連絡会議開催の特別講師“北沢警察署員による「振り込め詐欺講話」”を聞き以下のようなことを思いました。

振り込め詐欺はいつになったらなくなるのか。この手の詐欺は女性のお年寄りが標的となりやすいようですが、それは特有の心情に問題があるからではないと思います。長い人生で、特に家庭を一途に守り続けてきた女性達特有の蓄積された心情の結果と考ええます。

電話の相手は、本人の家族である一番身近な息子、娘、孫等のよからぬ話をする事で心に衝撃を与え、その架空の事実を信じ何とか助けなければと懸命になってしまうという、人間の弱点を突く巧妙な手口であると思います。

詐欺から逃れる一番肝要な点は、電話がかかってきたら、とにかく「こちらで確認をするから」と言って一旦電話を切る事です。これで100%に近い詐欺は防げると思います。間をおいて、再度事実の確認を自らする。このことが、振り込め詐欺から身を守る重要なポイントであると考えます。

年寄りの冷や水

経堂組 竹内 弘

年寄りの冷や水とは「年齢不相応に無茶なことをすること」と広辞苑にあります。私はこれを実践することで健康や仲間との交流を楽しんでいます。

数日前、82歳の誕生日を迎えましたが、先月はゴルフで3回目のエイジシュート（自分の年齢以下の打数で18ホールを回る）を達成し、シルバーの同好会の仲間から祝福を受けました。

無茶ついでに11月初旬、博多で開催された「世界シニアラグビー大会」に参加し、オーストラリアやイギリスのチームとの3試合に挑みました。大男の腹にのしかかれたり、相手に肩車されたり…。交流会では飲みまくり、踊りまくり、握手しまくり、寿命が何年も伸びたような楽しさでした。

「過ぎたるは及ばざるがごとし」の格言を胸に秘めながら、これからも無茶を続けて、「長生きしてやろう」と心に決めています。皆さん、よろしく！



もっと増えて！女性班長さん

上野毛組 久保田 孝子

私は話も下手、何をやってもものろまで、班長になるようなタイプではないと思っていました。

先日、班長研修会に出席して、女性班長が少ないなあと感じ、一生懸命意見を言う他の班長さんに感心しました。女性の良さを分かってもらい、女性が活躍できる場を作らなければと思いましたが、意見も「その場限り」になったような気がします。

同じ組に、もう一人女性班長が増えて、とても心強く思い、ボランティア活動の一環として始めた踊りの練習を通して、はじめて「班長をやっているよかった」と思いました。同じ組の班長や組長と一緒に「いきいき文化祭」に出場したときの一体感は、とても楽しいものでした。

もっともっと女性班長が増えれば、横のつながりも広がり、楽しく就業できるような気がします。

会費納入のお願い

平成23年度及び24年度の会費（年額1,000円）が未納の方は、早急に宮坂本部又は、烏山支部にお納めください。

**事務局
だより**

●配分金振込日予定●

12月分 1月18日(金) 1月分 2月14日(木)
2月分 3月13日(水) 3月分 4月11日(木)

配分金振込みは支払日に指定口座へ入金されますが、給与振込みと違い、全ての口座へ午前中に入金される訳ではありません。ご了承願います。

就業についてのご相談は さわやか相談窓口へどうぞ！

相談には理事が対応しますが、相談内容によっては事務局職員も対応します。

相談時間：午前10:00～ 午後1:00～
場 所：宮坂本部

1月8日(火) 2月12日(火) 3月11日(月)

平成25年版 「会員手帳」を発売しています。



会員の心得、センター就業の仕組み、傷害保険のあらまし、万一就業先で事故にあったとき、問い合わせ先、かかりつけの病院名などを記入する欄もあります。また、健康チェックや体験等記録欄もあります。

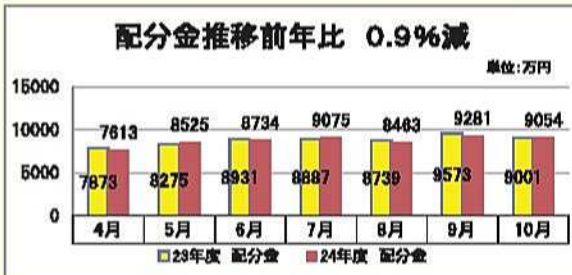
月毎、日毎の記帳ができ別冊アドレスブックが添えられています。会員特別販売価格200円（定価330円）、部数に限りがありますので、お早めに。宮坂本部、烏山支部でお求めください。

事業実施状況（平成24年10月末現在）

会員数 男 2,140人
女 868人 計 3,008人
受託件数 4～10月 12,988件
契約金額 4～10月 7億3,133万円

*会員数は、前年10月比で88人（2.3%）の増で本年度目標は3,140人をめざしています。事業実績は、受託件数が前年比563件の増ですが、契約金額が612万円の減、配分金額は534万円の減と、約1%のマイナスと厳しい状況です。

「会員一人1件受注運動」会員の皆様にもご近所へのPRなど、仕事の開拓をお願いします。



編集後記

「世界の老後」という論説によると、高齢者を魅力的な年齢層と認める企業や団体が増えつつあるとか。シルバー世代にとって、選択肢の多い世の中になってほしいものですね。

「シルバーせたがや」131号 （9月発行）のお詫と訂正

前号に下記の表記の誤りがありました。お詫びして訂正します。

訂正箇所	誤	正
P 5 右段上から7行目	秋元利夫 (等々力組) 氏	秋元利夫 (上野毛組) 氏
P 6 下から4行目	齋藤 實さん	齋藤 齊さん
P 7 左段下から4行目	147万	174万
P 7 右段写真説明	拘留	抑留

なお、P 7の平塚様ご投稿の「会員のページ」では、表記の誤りのほか、「抑留」を「拘留」に間違えるなど、不本意な表現でご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。
(編集委員会)

◆シルバーボウリング同好会

オークラボウルで、毎月第3金PM4:30～活動。

★連絡先 鈴木 尊康 ☎090-2175-4615

◆囲碁同好会

8月に結成。囲碁の好きな方、実力無関係です。

★連絡先 田村 進 ☎090-7856-3519

◆植物研究同好会

8月に結成。草花・低木の手入れ管理、実習など。

★連絡先 前澤 一福 ☎090-7417-7420

会員募集

◆ゴルフ同好会 けやき会

年4回「富士笠間ゴルフ倶楽部」でコンペを開催。

★連絡先 田村 進 ☎090-7856-3519

◆カラオケ同好会

★連絡先 (烏山)・林(3300-1776) (松陰神社)・山下(3303-8971) (船橋)・佐藤(3483-0203)まで

◆ボランティアグループ「青年隊」

「世田谷花火大会」、大東京マラソンに参加。

★連絡先 清水富久夫 ☎3429-9439